

3月12日：銘柄によってまちまちの展開の中、VN指数はわずかに下落

銘柄によってまちまちの動きとなる中で、利益確定圧力も上昇し、ベトナム株は不安定な動きとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.01%安の1,181.56ポイントで取引を終えた。

前日には1%高を記録していた。

出来高は6億2470万株で売買代金にして14.6兆ドンであった。

182銘柄の上昇に対して280銘柄が下落した。

1,185-1,200ポイントは心理的にもテクニカル的にも強い抵抗線となっているとバオベト証券は述べた。

それゆえに、このレンジに近づくと売り圧力が高まっている。

全体として相場は1,150-1,155ポイントを下限、1,185-1,200ポイントを上限とする範囲で上下している。

株式への投資比率を50%ほどに維持するべきで、下限に近付いたときに買いを入れて、上限に近づいたら売りべきだと同社は勧めた。

外国人投資家は売り越しを続けているが、売り越し代金は減少している。

このまま売り越し高が減少し続け、流動性が安定していれば、VN指数は再び1,180-1,200ポイントのレンジを試す展開となるだろうと予想した。

外国人投資家の売り越しは2,673億ドン、ビナミルク (VNM)、ホアファットグループ (HPG)、ベトコムバンク (VCB) などに売りが集まった。

VN30指数も0.08%安の1,187.81ポイントで取引を終えた。

30銘柄の内の16銘柄が下落し、7銘柄が上昇した。

ペトロベトナムガス(GAS)、SSI証券 (SSI)、カンディエンハウス (KDH)、モバイルワールドインベストメント (MWG) などが1%以上下落し相場を押し下げた。

一方、TTC 製糖 (SBT) が 4%高、VP バンク (VPB) も 1%以上上昇し全体相場を支えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.14%高の 273.91 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1 億 4,450 万株で売買代金にして 2.3 兆ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。